

甘楽町本報

昭和40年1月15日 (毎月15日発行) 第62号【1頁】

謹賀新年

ことしもおたがいのしあわせをつくるためにがんばりましょう

1月の納税

一、国民健康保険税
六期

1月1日の人口と世帯

世帯数 2,694戸
男 6,959
女 7,297
計 14,256

発行所 群馬県甘楽町役場
大宇小幡 甘楽町役場
甘電話(小幡)4番・44番・49番
編集 総務財政課 企画文書係
印刷所 坂本印刷株式会社

完成近い町営住宅

入居者を募集します

はじめて建てられた町営住宅16戸が、いよいよ完成間近になりました。そこで、町では、次の要領で入居者を募集します。

1. 町営住宅の場所=大字福島の天王団地
2. 募集期間=40年1月20日から同月30日正午まで、各日とも午前8時30分から午後4時まで。ただし、土

日を含め、次の要領で入居者を募集します。

3. 申し込み=役場に必要書類の用紙が備えてありますから、これを請求して、必要事項を記入のうえ役場へ提出してください。
4. 入居資格
(1) 住所は特に問いませんが、独身者はだめです。
(2) 扶養親族1人について2千円を差し引いた月収

ことしの計画と事業

新庁舎の位置 早い時期に決めたい

役場の新庁舎の建築は、かねてからの懸念の大事業です。新庁舎の建設は、町村合併のときの条件で、交通、経済文化、環境がよく、今後の町の発展に資して、町内行政との連絡上最も効果を望めるところで、一〇〇坪以上の土地が確保でき、しかも将来拡張できる場所を求めなければなりません。問題はどの位置にたてるかということですが、いままでの話し合いでは、下高尾小幡線の沿線、現庁舎から鎌倉街道までの沿線とされています。この位置の決定も、できるだけ早い時期にきめたいと思えます。これから、位置の話し合いを進めるためには、町民のみなさん一人一人のご理解とご協力がなければ決まるものではありません。

秋畑出張所の戸籍事務 本庁へ統合

秋畑地区の戸籍事務は、合併のときの約束手続で出張所へ移管されてきた。戸籍制度は、人の身分関係を登記するもので、本庁へ一本化する方が法務局からなん回も

農業構造改善 事業の推進

生産性の向上を実現するために、農業全般にわたる経営方法を改善し、農業の所得増大をはかる本事業は、今年度の計画年度で、善慶寺、上野天引地区を指定、来年度からいよいよ事業の実施にはいります。まず、土地盤整備事業としては、区画整備、田畑輪換事業、桑園の集約化など

鍋川土地改良 事業の再開

一部の除籍、および計画変更により一時中止となっていました。計画変更による受益関係者の同意が得られ、この一月十七日に工事に着手しました。

新屋保育園町営に

このことについては、地区住民のみなさんから強い要望がでておられますので、新年度から新屋小の公民館を改造して町営保育園として、スタートしたい考えです。

消防車を購入 十分団に配備

町では消防第十分団(庭谷造石白倉の一部)の消防自動車を購入し、使用にたえなくなつたためニッサンパトロール消防車を購入、昨年十二月十八日に同分団に配備しました。こんど配備された自動車はF.G.六型三九式(総排気量三・九五リットル、長さ四・三五メートル、幅一・五メートル、高さ二・一五メートル)で、次の作品を教師新井正治氏の、次の作品を選定と決定しました。

福島A連続 優勝

体育協会(柴山俊一会長)が主催する町内一周駅伝は、町内十四チームの参加のもとで熱戦を展開し、福島Aチームが、二年連続優勝しました。ことしで六回目をむかえたこの元日駅伝は、すつかり全町の行事になり、三・一・六五キロのコースを一チーム七人で中継し、力走する選手たちから沿道をつらしたファンから惜しみない拍手が送られ、盛況のうちに終わりました。大会成績は次のとおりです

小幡多胡線を整備

町道小幡多胡線のうち、小幡から引田までは昨年自衛隊の部外工事として実施し、自衛隊の誠実な作業によって短期間にしかも予定の経費の半分で、全長九〇〇メートル幅五・五メートルのりつばな道路ができあがりました。ことしは、このきりひらかれた道路に、砂利をしき側溝

三途川改修

天引地内から金井地内に流れる三途川は、全長二、二〇〇メートルの準用河川ですがこの金井地区の一部は屈曲がはげしく、大水が流れたときなどは、人家や田畑に害を及ぼす恐れがあり、また、農業構造改善事業としても要望されているので、その局部を改修したい。

校章きまる 甘楽二中

第二中学校(吉田酒蔵校長)では、二中を象徴する校章を一般から募集しておりましたが、二十九日の応募作品を審査の結果、同校

町谷地内の道路改良工事

したがって、ことしじゅうには、甘楽町地内の国道は全部補修されることになりました。昨年の工事では、長さ一〇〇メートルにわたる、幅六・五メートルの道路が整備されました。ことしはさらにこれを延長し、堀沢橋の架け替えが実施されるよう最善をつくしたい。

内久保橋の架け替え

内久保橋は老朽がはげしいので、架け替えることになり

下高尾小幡線 福島地内を整備

福島地内の小林屋かどから長さ約二〇〇メートル、幅六・五メートルが補修されます。また、福島地内から白倉(大山)に通ずる同線地内も改

東京小諸線 の補装

東京小諸線を結ぶ、国道二五四号線の新設地区が全線補装されます。

林道芳の元線 の開発

内久保大石平から芳の元に至る、林道芳の元線を、三年の継続事業として開発します。本線を開発すれば、奥地の林産物の開発と運搬などに大きな効果が期待できます。

内久保橋の架け替え

内久保橋は老朽がはげしいので、架け替えることになり

福島A連続 優勝

体育協会(柴山俊一会長)が主催する町内一周駅伝は、町内十四チームの参加のもとで熱戦を展開し、福島Aチームが、二年連続優勝しました。ことしで六回目をむかえたこの元日駅伝は、すつかり全町の行事になり、三・一・六五キロのコースを一チーム七人で中継し、力走する選手たちから沿道をつらしたファンから惜しみない拍手が送られ、盛況のうちに終わりました。大会成績は次のとおりです



購入した消防自動車

からぜひ必要と思えますので計画したいと思っております。その他 財源がゆるせば、新屋小学校の講堂の移築、または新築を考えたい。